

2021年度 TPM 優秀論文賞

応募のご案内

TPM



日本プラントメンテナンス協会は 2021 年
TPM 提唱 50 周年を迎えます



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

TPM 賞審査事務局

TPM 優秀論文賞は、「製造プラントのメンテナンス「TPM[®]」技術の研究・開発を促進することにより、企業の体質革新・体質強化を図り、もって産業界の発展に寄与する」ことを趣旨とし、設備管理に関するシステムおよび技術研究または改善実績等の内容で、独創性、表現力、分析力、テーマの掘り下げ、予想される効果等に優れた論文を審査・表彰することを目的に 1969 年に制定され、これまで 221 編を表彰しています。

また、TPM に携わる全ての方にご活用いただけるよう、プロダクション部門を①技術的成果などについての論文と、②生産現場で直接生まれた改善や工夫の事例紹介の 2 通りの形式でご応募いただけるようにしております。

募集部門・テーマ

(1) T: テクノロジー部門

主に保全技術あるいは生産技術(設備診断、設備設計、生産ライン設計、製品設計など)の研究、開発に関する業務につき、その経緯、経過、成果などについての実証、考察を含む論文

(2) P: プロダクション部門

主に設備管理、保全業務あるいは生産現場に関連の業務(自主保全、計画保全、個別改善、品質保全など)における革新、改善活動の経緯、成果などについての論文あるいは事例紹介

①当該生産部門での課題に対し、その経緯、経過、改善手法、成果などについての実証、考察を含む論文

②生産現場で発生した「こまりごと」につき、その改善・工夫を提示している事例紹介

例)からくり改善活用、IoT・AI 技術の適用など

(3) M: マネジメント部門

設備および工場運営に関するマネジメント(PM 推進組織、現場運営、IoT・AI 管理、技能教育、管理技術、安全・環境管理など)に関する計画、統制、維持・継続、改善・向上などの経緯・手法・実績および考察等を含む論文

応募要領

(1) 応募申込書に必要事項を記入し、原稿の巻頭に添付してください。

(2) 原稿の提出について

原稿は執筆要領に基づいて作成し、下記要領で提出してください。

・紙で提出の場合 オリジナル 1 部とコピー 10 部

・データで提出の場合 メールでご提出ください。

(3) 既発表論文での応募について

・過去本賞に応募した論文で応募する場合、内容を一新したものとしてください。

・小会「プラントエンジニア」誌に発表した論文で応募する場合は、2020 年 4 月号～2021 年 3 月号に掲載されたものとします。

・雑誌、学会誌などで既に発表した論文で応募する場合、2020 年 4 月以降のものとします。なお、入選の場合、当会「プラントエンジニア」誌に掲載いたしますので、応募前に必ず許可を得るとともに、論文要旨に発表雑誌名などを明記してください。

・いずれの場合の原稿も、執筆要領に基づいて作成してください。

(4) その他

・応募点数に制限はありません。

・提出された原稿は返却しません。

・海外からの応募も可能です。

(5) 提出期限

2021 年 7 月 16 日(金) (TPM 賞審査事務局必着)

執筆要領

(1) 使用言語は、日本語もしくは英語とします。

(2) 用紙・文字数

・A4 判用紙を縦に使い、横書きで 1 頁は 40 字 × 30 行程度、全 10 頁以内にまとめてください。

・写真・図表などを記載する場合は、対応する本文の近傍に挿入し、10 点以内を目安とし、10 頁の中に含めてください。

(3) 表記法

・新仮名つかい、新字体の使用を原則とします。当用漢字を中心とし、旧漢字などは極力避けてください。

・句読点はカンマ(,)マル(.)を使用してください。

・引用文にはカギ括弧(「」、『』)を使用してください。

(4) 章立ての書き方、写真・図表の番号

・プレフィックスラベルの書き方はリーガル書式としてください。

ex) 1, 1.1, 1.2, …, 2, 2.1, 2.2 …

・写真・図表の見出しへは Pic.○○、Fig.○○としてください。

ex) Pic.4(写真(picture)の名称) Fig.4(図表(figure)の名称)

(5) 応募申込書、表紙、論文要旨

・論文の巻頭に、①必要事項を記載した応募申込書、②表紙(論文テーマ、執筆者名)、③論文要旨(500 字以内)を添付してください。なおこの①～③は、上記 10 頁に含みません。

(6) 海外からの応募について

・海外からの応募の場合も、上記執筆要領を厳守してください。ただし特例として、英文による参考資料を添付することができます。

審査方法

(1) 応募された TPM 論文を審査対象とします。

(2) 審査は、TPM 賞審査・表彰規程により設けられた「TPM 優秀論文賞審査員会」が行います。

(3) 審査は部門別に下記を要点として行います。

共通の要点：表現力、論理性、構成力など

T: テクノロジー部門の要点

独創性、新規性、実証性または成果(企業への貢献度)、他領域への発展性などを中心に審査を行います。

P: プロダクション部門の要点

①分析力、実証性、その成果(企業への貢献度)などを中心に審査を行います。

②着想のユニークさ、改善・工夫の内容、成果(企業への貢献度)などを中心に審査を行います。

M: マネジメント部門の要点

人材育成、体质改善、継続性などを中心に企業への貢献度を重視して審査を行います。

(4) 審査員の評価点に基づき、部門ごとに上位から「入選第1席」「入選第2席」を選出します。

(5) すべての応募論文の中で特に優れている論文に対しては「最優秀賞」を設けることもあります。

(6) 提出された原稿が執筆要領に準拠していない場合は、審査対象外とします。

発表・表彰

(1)入選論文は、2022年1月下旬に開催するTPM賞委員会で決定し、文書で通知します。また、小会ホームページ(<http://www.jipm.or.jp/>)、機関誌「プラントエンジニア」などにも発表いたします。

(2)2022年3月中旬(予定)に開催する「TPM賞表彰式」において表彰を行い、表彰楯ならびに下記の賞金を授与します。

・賞 金：最優秀賞 10万円 / 入選第1席 5万円 / 入選第2席 3万円

(3)入選論文の掲載など

入選論文は、当会発行の「プラントエンジニア」誌などに掲載します。また、当会主催による大会、セミナーなどで発表をお願いすることがあります。

●近年の受賞論文

2017 年度	T	第2席	「超安定運転」実現のための保全技術開発	三菱ケミカル(株) 永井 浩昭
	P	第2席	設備保証度の向上	サカタインクス(株) 羽場 和宏
	M	第2席	現場教育へのIT教育の導入と熟練技術者の活用	(株)中部プラントサービス 小濱 清
2018 年度	T	第2席	ベベル冷間歯形成型のROVデファレンシャル部品への適用	ヤマハ発動機(株) 仲田 武弘
		第2席	配管外面腐食検査のデータに見える原因の推定	住友化学(株) 戸田 勝彦
	P	第2席	IoT/ICT技術を活用した加工組立・製薬工程への予兆保全の提案	富士フィルムエンジニアリング(株) 石野 昌裕
	M	第1席	東レにおける設備トラブル・ゼロへの仕掛け	東レ(株) 菅谷 廣幸
2019 年度	T	第2席	キレート樹脂によるめつき液寿命延長	ヤマハ発動機(株) 菊野 孝雄 氏
	P	第2席	サスペンション部品製造ライン一個流しへの挑戦	東亜工業(株) 大成 良和 氏
	M	第2席	安全文化を創り出す人間力と現場力～TPMによる変革について～	荒川化学工業(株) 赤木 真一 氏
2020 年度	T	第2席	世界トップレベルの冷却速度を実現するホットスタンピング工法の開発	東亜工業(株) 鈴木 康剛 氏
	P	第2席	周波数分析を用いたカムシャフト異音対策	ヤマハ発動機(株) 寺井 信夫 氏
		第2席	ショットピーニング残留応力付与によるピストン鍛造金型寿命改善	ヤマハ発動機(株) 村松 龍馬 氏
	M	第2席	ミッショングアのバリ取り作業少人化技術の開発	ヤマハ発動機(株) 新間 敬也 氏
		第2席	「TPM/故障解析ネットワーク」による高信頼性設備づくり	(株)デンソー 稻付 卓郎 氏

特許法第30条に基づく、「発明の新規性の喪失の例外」について

当会は、特許庁から「特許法第30条1項(実用新案法第11条第1項において準用する場合を含む。)の規定に基づく学術団体」としての指定を受けています。よって当会において発表した論文の内容は、発表後6ヶ月以内であれば特許や実用新案を申請することができます。

応募申込み・問合せ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM 賞審査事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-3 神保町SFⅢビル5階
TEL:03-6865-6081 FAX:03-6865-6082 E-mail shinsa@jipm.or.jp

「TPM」は(公社)日本プラントメンテナンス協会の登録商標です。

©(公社)日本プラントメンテナンス協会

2021 年度 TPM 優秀論文賞応募申込書 (年 月 日)

応募部門	T:テクノロジー部門		P:プロダクション部門		M:マネジメント部門	
* 応募する部門に○印をつけてください。						
ふりがな						
論文テーマ						
執筆者	ふりがな 氏名		勤務先			
	E-mail アドレス		所属・役職名			
	連絡先 (勤務先 または自 宅))	〒 TEL	FAX			
執筆者	入社後の 略歴	年～年	所属・役職名・おもな業務			
		(新聞、雑誌、著書、講師、その他)				
執筆者	外部活動					
執筆者	ふりがな 氏名		勤務先			
	E-mail アドレス		所属・役職名			
	連絡先 (勤務先 または自 宅)	〒 TEL	FAX			
執筆者	入社後の 略歴	年～年	所属・役職名・おもな業務			
		(新聞、雑誌、著書、講師、その他)				
審査結果 通知先	ふりがな 氏名 _____ 所属役職名 _____					
	住所(上記と異なる場合のみ)				TEL ()	
	〒 _____				FAX ()	
E-mail _____						

3名以上で執筆される場合は、この用紙をコピーして使用してください。

■個人情報の取扱いについて■

ご記入いただいた個人情報は、当会の運営・管理に利用するほか当会のサービス等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(<http://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください。